

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービスkawaii				公表日	2025年2月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		定められたスペースで行っている。 人数が多い時でも、危険がないよう部屋を確保しています。 物の配置等工夫している。注意している。	常に危険がないように部屋わりにきをつけていくようにしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		定められた職員数が配置されている。 学校送迎時の伝達をしっかりと行い業務がスムーズに続けられる様にしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		定められた事業所としての配慮が行われている 全面バリアフリーとなっている。危険の無いよう物品の配置等気を付けている	部屋はバリアフリーではあるが玄関は段があるため危険がないように気を付けます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		常にきれいにしています。	心地よく過ごせるように清潔で環境設定にも気を配るようにしていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		学習する時、遊ぶ時など部屋を分けている	落ち着ける場所として個別の部屋を用意しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		各々職員が利用者の担当し、振り返りと目標設定している。 また、全てを全職員で話し合っている	パート職員も参画できるようにしていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		毎年実施している 結果を確認し、把握したり必要なことは改善に繋げている。 送迎時の保護者からの意見も参考になっている	改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		毎日ミーティングを設けて各自が意見を出し合うようにしている	改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		外部研修や事業所内研修をする機会を確保しています。	外部研修にも積極的に参加できるようにしています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		適切な支援プログラムを作成して公表します。	支援プログラムと公表をしています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9			5領域に関するアセスメントを通じて子どもと保護者のニーズを把握しその結果をもとに具体的な放課後等デイサービス計画を立案します。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9			個別支援会議を支援に関わる職員で行うようにしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		計画に沿った支援を職員全員で心がけている。	計画に沿った支援を行うようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9			確認できています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			必要な項目を適切に設定して、具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		保育士を中心に立案し、全職員で話し合いを行っている。 様々な職種の職員の意見が入るようにしている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		その都度工夫をしている。 同じ活動（繰り返しの刺激）を大事にしているが、進め方や個々に合わせた取り組みに出来るよう工夫している		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	1人1人の状態を把握し計画した。	ほぼ個別活動が多い中ではあるが、集団活動との組み合わせについて考慮していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	毎日ミーティングをおこない今日する支援について話し合っている 朝礼で打合せをしている 個別支援計画や情報を共有し合いながら行う	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	改善すべき点、良かったことなど毎回反省会を行った。 共有できるよう終礼や日々の記録で伝えている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	連絡帳を書いたり、記録を残して次回へつなげた。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	半年に一度実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	9		地域交流の機会の提供ができていません。今年は地域の行事に参加したいと思っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	自立活動できる力を伸ばすよう支援している	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		児童発達支援管理責任者を中心に行い、内容は全職員に報告されている	状況をよく理解した職員が参加するようにしています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		体制は整えています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	学校迎え時の申し送りにてその日の情報は共有できている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	これからも情報共有と相互理解したい	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	本年度はしていない。	活動できるよう努めたいです。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9		参加できるときは参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		連絡帳で伝えていますが未読の日もあります。毎日既読になる方法を考えております。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		必要に応じて対応ができるようにしています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		丁寧な説明ができるように心がけています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		こどもや保護者の意思の尊重を一番考えています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		常にできています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		電話での相談や事務所内での面談を必要に応じておこなっています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9		きょうだい同士の交流ができるようにしていきたいです。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		苦情があった場合は迅速に対応するようにいたします。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		HPの活用をしていきたいです。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	注意して取り扱っている 勉強会も年1回行っている。 控えた方が良い方は控え、同意を得ている方のみ（写真撮影、掲載など）外部には出さないようにしています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	送迎時などでお話を聞いたり児童発達支援管理責任者を通して教えてもらった。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	コロナの情勢以降活動は行われていない。意識は持っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	・マニュアルを策定している。 ・職員間も連絡網で練習した。 ・マニュアルは策定されており、職員はそれぞれ確認している。保護者への周知については今後考える必要がある	伝達などで周知ははかられているが、訓練の体験はできていません。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	年2回、利用者さんと一緒に訓練を実施。連絡帳で報告している。	職員全員が参加できるように予定を立てていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	服薬の子どもの状況はよく確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	全職員でアレルギーは確認している。 アレルギー対応の弁当を持参してもらっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		職員全員が参加できるようにしていきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		お知らせ方法を連絡帳以外で検討中です。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	そのようなことがあった時は報告し、共有し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	日々、職員で周知し、毎年勉強会を実施している。	適切な対応をしています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		やむを得ない場合は記載するようにします。本年はありませんでした。	